

## はっち TABATHA 新作ダンス公演「わたしの四季」を見て

文／大澤 苑美 (八戸市美術館 学芸員)

「ありがとうございます、ただいまからアフタートークを始めます。」

この公演は、ヴィヴァルディ作曲の「四季」を踊るといって告知されていたので、あの有名な弦楽の冒頭メロディが聞こえてくることを期待していた観客は、顔にハテナを浮かべ、配られた当日パンフレットをゴソゴソするなど動揺した。その後、アフタートークでの近況話などに客席の緊張が緩み、今日は本当に彼女たちが踊るのを見られるのだろうか、と疑心暗鬼になり始めた時に、いよいよ、ヴァイオリンの音が聴こえる。そこから先は、踊りと身体と緩急ついた展開に目と気持ちは釘付けになり、気がつく、エンディングで手拍子をしている有様だった。TABATHAの沼に皆どハマりだった。

それはもう、見せつけられたなという感じだ。構成力と、振りの面白さ。プレーズやメロディにダンスの振りを当てはめて音楽の構造を基盤に踊るシーンもあれば、

爺さん婆さんによる老舗ラーメン屋を舞台にした茶番劇もあり、多様な性格のシーンによる「アンサンブル」作品だった。「見る楽しみ」をこんなに味わえたのは久しぶりかなと思うほど。

TABATHAが八戸で踊る機会はこれが4回目。メンバーの四戸由香さんが八戸出身ということもあり、横浜ダンスコレクション2019などの受賞で評価も高く、海外での公演経験も有する注目のダンスカンパニーにお目にかかれる機会が多いのは

嬉しいことだ。

主宰の岡本優さんには、筆者が企画担当をしていた南郷アートプロジェクト(2021・2020)のDANCEXJAZZ VOICE 中村蓉作品のメンバーとしてきていただいたのが初回。その後、TABATHAとして、四戸さんと、2018年、マチニワのオープニングパフォーマンスと、秋に行った「南郷紅白大演会」(南郷歌謡愛好会の皆さんの歌で踊る、という濃い企画)に参加いただいた。この3回は、いわば、私たち八戸からのオフアー

企画で、共作だったわけなのだが、やはりアーティストの本質を存分に味わえるのは、アーティスト単独の公演だ。

今回披露されたのは、新型コロナウイルスによって発表できずにいた作品だという。今回、はっちの滞在期間で、リクリエーションを加え、さらにパワーアップしての「世界初演」を八戸で迎えたことになる。

TABATHAのキャッチフレーズは「ちよつとタサくて、かっこいい。一度見たら病みつきになるような全員めがねの爆発ダンス集団」。この日、はっちのスタッフも皆メガネをかけていた。はっちに、TABATHA旋風が確かに駆け抜けていた。またの「襲来」があることを期待している。

### ●筆者近況

八戸市美術館では、筆者が担当する「美しいHUG!」が4月29日より開幕。また、先々の企画のため、Amuseの初代編集長(！)で、画家、詩人、ジャズ喫茶のマスターと多様な才能を持つ大久保景造のリサーチを始めたところです。



TABATHA 新作ダンス公演「わたしの四季」から

### 第8回八戸市公民館 特別企画演劇公演 「真夜中のサーカス」

【日時】5月19日(金) 18:30開演、20日(土) 13:30開演 ※開場はそれぞれ1時間前 【場所】八戸市公会堂文化ホール 【料金】一般前売2,000円(当日2,500円)、高校生以下前売1,000円(当日1,500円) ※未就学児の入場はご遠慮ください 【問合せ】八戸市公民館 ☎0178-45-1511



### 演劇空間 スペースベン

～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、料金は一般前売500円  
大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増し)

※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認ください

八戸市柏崎1-11-8 TEL:080-6025-0990 FAX:050-3588-8350  
E-MAIL:owner@spaceben.com URL:https://spaceben.com/



### FANS FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP

FANS予定▶第1526～1529回

「だべり場」及び「かたり場」、随時開催しています。  
(演劇公演ではございません)

WHAT'S "FANS"? 多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

一般前売500円 / 大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増)